



成人年齢の18歳への引き下げ。 あなたは賛成？反対？



「成人年齢の引き下げ」は政治の場でも社会的にも議論が続いているテーマ。高校のディベート大会などでもよく取り上げられるので、関心がある高校生も多いかもしれない。

具体的提案されているのは、公職選挙法で定められている選挙権年齢や民法で定められている成人年齢の18歳への引き下げ。ちなみに憲法改正の際などに行われる国民投票は法律上18歳から投票権が認められているが、選挙権年齢が18歳に変わるまでは20歳以上とするという、なんとも中途半端な状態になっている。社会全体でそろそろ結論を出さないといけない時期にきているのは確かだ。

では、成人年齢が18歳に引き下げられると何が変わるのか？ 関連する法律をどこまで改正するかによるが、公職選挙法や民法が変われば、18歳で選挙権が得られるほか保護者の保証なしでローン契約などができるようになる。飲酒や喫煙がOKになる可能性も。現在20歳未満対象の少年法は、対象年齢が18歳未満に変わる可能性が高い。

高校生は成人年齢引き下げがダイレクトに影響する立場であり、それぞ

れに意見があるはず。そこでリナビ進学ジャーナルでは、2013年3月に高校生3000人を対象にアンケートを行った。結果は賛成48・7%、反対51・3%。ほぼ五分五分だが、僅差で反対が上回った。では賛成派、反対派それぞれコメントを見てみよう。

- 賛成派
 - ・外国では18歳が主流だから（高3女子／東京都）
 - ・政治というものが自分の身近に存在することを理解・浸透させるためには良いと思う（高3男子／石川県）
 - ・責任感がたりするかもしれない（高1女子／北海道）
 - ・18歳といえば大人とさほど変わりないし、選挙に参加できる人数が増えるのは良いことだと思う（高1女子／大阪府）
 - ・高卒で働いたりするとその2年が何だか中途半端（高3男子／富山県）
- 反対派
 - ・今現在18歳だけど、まだまだ学校の狭い世界にいる身だから視野が狭いかも（高3女子／神奈川県）
 - ・酒やタバコは遅ければ遅いほどいいから（高1女子／鹿児島県）
 - ・引き下げると何かをしでかしたと

悪質化が止まらないネット。身を守るにはどうしたらいいか？

ネットの掲示板に悪口を書き込まれる、個人情報やネット上で拡散される…。こうした「ネットいじめ」は、高校生にとって身近で深刻な問題。最近では対策に取り組む学校も増えており、表向きは問題のある書き込みが減るなど一時的成果を挙げているが、「いじめめる側も考えていますから、先生たちにもつからないような私たちで新しい掲示板を作る。実質は減っているのではなく、人の目につかなくならないだけです」とネットいじめ問題に取り組む全国Webカウセンシング協議会の安川雅史さんは指摘する。



ネットいじめの原因は多くありますが、いなかだ。SNSやオンラインゲームでのやりとりがそのきっかけになることも多い。最近では、LINEでの「コミュニケーションが原因になるケースが目立つ」と返信が来ないからと無視されるようになった、自分を外したLINEグループを作られたなどの相談も私たちのものに多数寄せられています。

LINEのグループトーク内でのいじめはWebサイトと違って外部からはチェックできない。また、友達同士でグループを作っていることが多いため、そのいじめはリアルな生活にも直結してしまう。

一方、ネットいじめの怖さは仲間内やクラス内だけでとどまらないところにもある。今やいじめる側は知り合いはかりとは限らないのだ。

例えば、最近増えているのが、飲酒、喫煙、バイト先でのいたずらなどの画像や書き込みが個人情報と結びにさらされて不特定多数からのバッシングにつながるケース。エスカレーターすると、学校にクレームが入る、住所が特定されるといった事態に発展することもある。

「友達とだけやりとりをしている感覚でSNSに、個人情報やプライベート画像、他人の悪口などを書き込むのは非常に危険なものです。また、パスワードをかけているから大丈夫と思っ

ていても、ネットにさらすためのネタ探しをしている人間は、パスワードなど簡単に外します」

全国Webカウセンシング協議会では被害者からの依頼で、悪質な書き込みの削除に無料で取り組んでいるが、ネット上に拡散した情報を完全に消すことは非常に難しいという。万が一、ネット上に自分への誹謗中傷や個人情報を書き込まれた場合は、とにかく学校や行政などにすぐ相談するべき。この6月にはいじめ防止法が公布され、ネットいじめに関しても、法務局の協力が得られるなど、以前と比べれば被害者を守る体制は整ってきた。しかし、それ以上に大切なのはネット上に不意な書き込みをしないこと。

「あなたがSNSやブログに書き込んだことが、アップした画像は世界中に公開されていることを意識してネットを利用しましょう」。この基本を徹底することが善策だ。

(伊藤敬太郎)